

<プログラム>

「理事退任挨拶」

奉仕プロジェクト 宮永誠治 理事



初めて理事をさせていただきました。各リーダーそれぞれの方が能動的に動いていただいたおかげで、ずいぶん助かりました。

また理事会というのがロータリーの最終意思決定機関だということが大変よくわかりました。理事をすることによってロータリーに対する理解が進んだのかなと思いました。この一年間、本当にありがとうございました。

R財団 梅田整一 理事



R財団は皆様から寄付をいただくことが仕事ということで、私自身は得意なことではないのですが、皆様には多くのご協力をいただきました。

寄付というのは日本人にはなじまない面もあるのかもしれませんが、次年度からはアクティブに活動していただければとお願いしたいと思います。

次年度の理事には7月から積極的に寄付を募るよう申し伝えておきますので皆様よろしくをお願いします。

長棟信泰 幹事



私は、ロータリー歴は長いのですが、あまり一生懸命ではなかったものですから、幹事という役目を引き受けてからは気の重いスタートでありました。しかしこの一年間、非常にいい経験をさせていただきました。上座に座らせていただきながら各会員である皆さんの表情を興味深く見させていただくチャンスに恵まれました。

思い出深いのが、村上会員、上森会員という大御所の会員がお亡くなりになられたことです。すごい人生を歩んでこられた方に、そっと見守っていただいていたのだなという感想を持ちました。

若い人も増えていますが、大先輩に見守られながらロータリーというくくりの中で関り合い、高めあっているのはロータリーならではだと思います。今まで演歌などを口ずさんでいた私が時としてロータリーソングを口ずさむ自分に驚いています。非常に実り大きい1年間でありました。本当にお世話になりました。

木美俊彦 会長



スタートしてから徳島の阿波踊りや、図書館への寄贈などでんやわんやで、就任早々、一年持つのかなと心配しておりました。なんとか残り3週間を残すのみというところまでこぎつけました。

まだソウルのイエジヤンのメンバーとの交流や最終の夜間例会など重要な行事が控えておりますので、残りを一生懸命がんばりたいと思います。

先ほどの話でもありましたが2回も弔辞を読むようなことになったのは非常に残念なことでありました。お二人にはロータリーの真髓のことを、お聞きしたりしました。米子東ロータリークラブは会員が非常に増えてきています。気がつけば山陰で最大のクラブとなっています。数が増えた分、会員同士の融和に力を入れてまいりました。CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)という、いかに効率よくクラブ運営をしてまとめていけるかということがロータリー活動に採り入れられています。そのCLPを実際に実行いただいた各リーダーの皆様には、個別に改めて御礼申し上げたいと思います。

「参加しよう そして行ってみよう」と掲げたテーマのもとメンバーの皆様にご協力いただきお世話になりました。この一年間本当にありがとうございました。

6/13 ソウル芸場RC来訪 米子鬼太郎空港



どじょう
すくいに
チャレンジ